

竹原管内景況調査

6月の景況DIは、製造業、非製造業ともに好転

当所では、地域商工業者の景況並びに経済動向等に関する情報の収集・分析を行っています。今号では、令和4年6月に実施しました調査結果がまとまりましたので、ご報告いたします。

調査概要

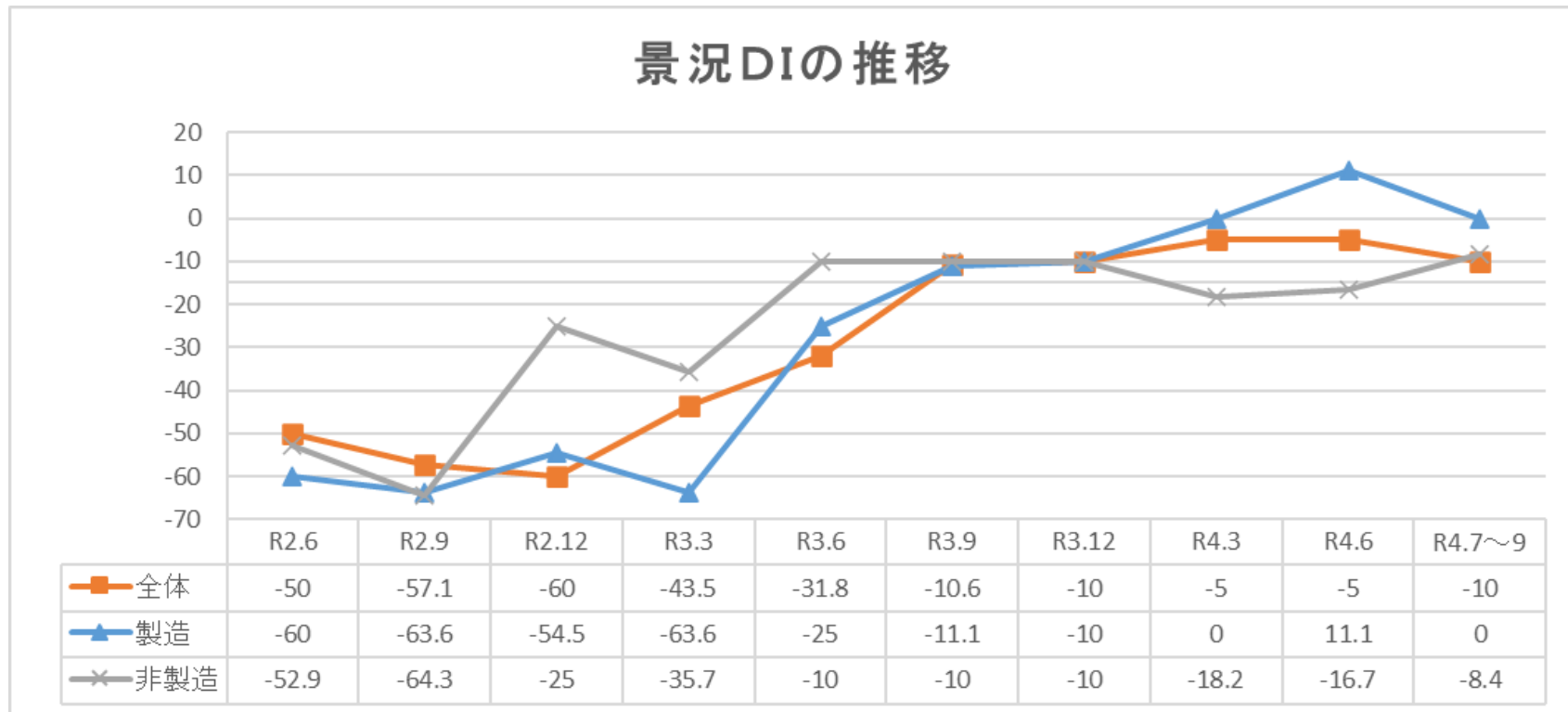
【調査時期】
四半期毎に調査(年4回実施)
【調査期間】
令和4年6月
【調査対象】
当所会員

回答状況

産業	対象事業所	回答数
製造	16	8
建設	5	3
小売	11	6
サービス	15	3
合計	47	20

●全産業におけるDI値

景況DIの推移



6月の景況DI数値は、前回調査と比べて製造業は11.1ポイント好転で、非製造業は1.5ポイント好転でした。
6月と比べて4月～6月までの見通しは、全体では、10ポイント悪化しています。



※DI(ディフュージョン・インデックス)は、各調査項目についての判断の状況を示します。

ゼロ基準として、プラス値は景気の上向き傾向(「良い」)をあらわす回答の割合が多いことを示し、マイナス値(▲)は景気の下向き傾向(「悪い」)をあらわす回答の割合が多いことを示します。

●景況が好転(悪化)した理由について

1. 貴社の景況が好転(悪化)した理由について

- ・マツダの生産台数が、4月は最悪だった。中国上海のコロナ策で、製品がストップした。
- ・新型コロナウイルスの影響が沈静化に向かっていること。(精密機械)
- ・ようやく県外からの注文がいただけるようになった。(鉄工)
- ・昨年比では増加したが、2019年比では、大幅減。(食品)
- ・平成30年に発生した西日本豪雨で生じた災害関連工事が、本年度で数多く完成するため。(建設)
- ・受注している工事の難易度が高くなってきているため。(建設)
- ・コロナ禍の巣ごもり需要の減少。(スーパー)
- ・学校関連の請求が、コロナで生徒がこれぞ遅くなったため。(写真)

2. 原油・原材料価格の高騰や円安による影響と販売価格への転嫁状況について

- ・原材料は若干上昇している。今年後半にはコスト高となる見込み。(精密機械)
- ・原材料の高騰は今後も続くと思われるが、販売価格への転嫁はすぐには難しい。(精密機械)
- ・販売価格を値上げした。(繊維加工)
- ・価格上昇分は転嫁できているが、物が入ってこない。特に電気部品が全然入ってこない。製品が完成しないため、出荷ができなくなりそう。(鉄工)
- ・多く価格変動がある場合は、公共工事の見直しが行われる。(土木)
- ・燃料の高騰が収益を圧迫。(建設)
- ・一部価格上昇あり。(スーパー)
- ・コロナ禍による外出自粛の影響と、食品、ガソリン等の値上がりで弊社での購入を控えられている。(衣類)
- ・仕入れ価格の上昇に、販売価格の上昇が追い付いていない。(精肉)
- ・原材料価格高騰による値上げを検討中。(飲食)

(※アンケート全体から一部抜粋しています。)